

住人十色

第 198 回

海外留学でまた一つ開く可能性の扉 メキシコサッカーU-15の最高峰に挑む

宮岡 虎蒔さん(内子中学校3年) 川中1



◎「友達が中学校の廊下に『虎蒔おかえり』と貼ってくれていて、うれしかった」。一回り大きくなって帰ってきた虎蒔さん

サッカーの海外短期留学プログラム「JFAアデイドス DREAM ROAD」の参加選手に宮岡虎蒔さんが選ばれ、4月から約3週間、メキシコの強豪チーム「クラブ・アメリカ」で武者修行を経験しました。日本からの参加者は宮岡さんを含めて4人。約半日の練習は週5回、基礎から対人練習、筋力トレーニングまでみっちり行いました。宮岡さんは「やることは日本と同じでも、質は高い。標高約2000mの高地で疲れやすく、最初の一週間はきつかった」と振り返ります。さらに「パスのスピード、連携、意識の高さ——どれもハイレベル」と宮岡さん。言葉が通じない中、コーチの指示はチームメイトの動きから想像し、自分の意思を身振り手振りで伝えながら、トップレベルのサッカーを吸収していきます。その中でも「空中戦は自分の強みと思えた。それに、ご飯はうちのほうがおいしい」と笑います。

宮岡さんを小学生時代から指導してきた、内子サッカースポーツ少年団代表の曾根和也さんは「彼の成長は、先輩や2人の兄の背中を追いながらも、見えないところでも努力してきたからこそ」と目を細めます。「まだまだ伸びしろがある。これからが本場の闘い。活躍を楽しみに見守りたい」とエールを送りました。

編集 幸記

▽通学合宿の取材に行く……ことはできませんでしたが、「保護者は来てはだめ」とのこと。後輩が頑張つて撮影してきてくれた写真から、充実の時間だったと分かります。すてきな体験を支えてくださった皆さん、ありがとうございました(史)

▽仕事で沖縄の人とお話する機会が何度ありました。気付けば毎回「内子町は宜野座村と姉妹町村なんですよー」と、ここぞとばかりにアピール。広報担当の性でしようか、つい話したくなつてしまいました(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

